



皆さんの声を市政へ

滝川市議会では、市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問において、代表質問と個人質問が認められています。代表質問は、会派代表者が市政執行方針等に対して行うもので、改選年を除いて3月定例会において行われています。市民から重大な関心と期待を持たれていることについて行政に問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は会派代表者が45分以内、無所属議員は15分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、5名の議員が質問しました。

質問者	全質問項目
福井 雅章 (新 政 会)	令和8年度における市政運営 給食無償化 レスパイトケア事業 子ども医療費助成 新たなB&G海洋センター 感染症対策 中空知地域の地域医療構想 災害時の避難行動要支援者 企業誘致 滝川市住生活基本計画 ふるさと納税 部活動の地域展開
藤田 哲也 (市民ネットワーク)	持続可能なまちづくりの展望 学校給食の無償化 住宅施策推進事業 子育てと健康の拠点複合施設整備事業 中空知地域医療構想 非常用電源装置購入費用助成事業 ヒグマ対策 農業分野における地域おこし協力隊 農業者の後継者対策 農業所得向上対策 学校教育への外部講師導入の必要性 少人数指導・習熟度別指導の実施体制と教職員負担
柴田 文男 (会 派 清 新)	学校給食 國學院大学陸上競技部の受け入れ態勢の強化 中空知地域医療構想 防災体制の確立 農業経営 企業誘致 空家等対策 いじめ防止対策
三上 裕久 (公 明 党)	市政運営の基礎である組織内統制(ガバナンス) 滝川駅周辺地区再生整備事業の白紙撤回による対応 滝川市立病院への今後の支援 学校給食の公費負担 住環境の形成 歳入増加対策 自治体DXの推進
寄谷 猛男 (日 本 共 産 党)	旧スマイルビルの解体 ホール機能の実現 子ども医療費助成 加齢性難聴の補聴器補助 新規就農者の育成確保 スカイスポーツの振興 青少年の健全育成

第1回定例会 代表質問から

ふるさと納税について 中空知地域医療構想、



福井 雅章
新政会

問 中空知地域医療構想についての進捗状況と今後の見通しについて伺う。

答弁 2回にわたる専門部会では、国で検討中の新たなガイドラインに基づき、急性期拠点機能、高齢者救急・地域急性期機能といった医療機関機能を各公立病院に当てはめ、これを基に次年度は、疾患・重症度に応じた役割分担や外来・在宅医療提供体制の検討と医療介護連携に係る情報共有、圏域全体と各医療機関の適正規模の検討などの取り組みを具体的に協議する予定です。

問 ガバメントクラウドファンディングに係る補助制度を創設し、返礼品開発を後押しするとあるが、既存・新規の開発をする事業者の見込みと目標とする寄付額などの想定を伺う。

答弁 ふるさと納税制度を活用してクラウドファンディングで調達した寄付金を

財源として、新たな返礼品の開発等に必要となる設備投資を行う事業者を支援する補助制度を令和8年度に創設します。本制度では、令和8年度で3事業者程度、必要な目標寄付額は約2億円を想定しており、事業の採択にあたっては、企画書を審査し、ふるさと納税寄付額への影響や地域経済への波及効果なども評価しながら事業者選定を行っていく予定です。

問 給食無償化について、国の負担分で賄えない部分を市が負担するとあるが、物価上昇等により負担額の増加が懸念される。国や道の対応が間に合わない場合は予算措置などをして給食の質を維持する考えはあるのかを伺う。

答弁 給食の質を落とさないというのは大前提です。子どもたちの発達段階に応じて栄養価は決められているため、適正に対応していきたいと考えています。

持続可能なまちづくりの 展望について



藤田 哲也
市民ネットワーク

問 市政執行方針には「滝川市に住んで良かったと思えるまちづくり」を掲げられたが、「滝川市に住んでみたい」と直感的に思わせる魅力創出こそが最重要課題である。今後、本市の独自性や優位性をどのように打ち出し、選ばれる「魅力ある滝川市」を築いていくのか具体的なビジョンを伺う。

答弁 持続可能なまちづくりの展望については、市民の皆さんが「滝川市に住んで良かった」と実感できるまちづくりを推進し、人口減少の緩和を図ることが重要と考えています。令和8年度からの子育て支援をはじめとした各種施策を着実に推進し、市民満足度の向上を図ることが本市の優位性となり、市外の方々への魅力創出にもつながります。また市外の方に興味を持っていただく観点では、國學院大學北海道短期大学部や東京の國學院大學との連携強化、グライダーを活用

した交流・関係人口の創出、新たなB&G海洋センターを含む西滝川エリアのPRなど、本市の独自性を活かした取り組みを進めます。

問 今回示された「点」となる施策が、「住み続けたいという実感」や「安定した税収」という確かな成果に結びついていくのか考えを伺う。

答弁 (仮称)子育てと健康の拠点複合施設の整備や妊娠・子育てに関する新たな支援事業、住宅取得支援の拡大など、ソフト・ハード両面での子育て支援を進めることで、市民満足度の向上と人口減少の緩和を図ることが重要と考えています。これらの取り組みを着実に積み重ねることで「住み続けたいという実感」の醸成や「安定した税収」の確保につながり、総合計画に掲げる「心が育ち、人を紡ぐ、いつまでも住み続けたいちよūdい田舎」の実現に寄与するものと考えます。

防災対策と教育環境の充実について



柴田 文男
会派清新

問 巨大地震の発生リスクが指摘される中、市民の防災意識の向上とより具体的な避難行動計画の策定が必要と考えるが、最も急がれる取り組みは何かを伺う。

答弁 想定を超える災害が発生する中、避難行動要支援者を対象とした新たな個別避難計画の策定を進めていきます。この取り組みは途上ですが、関係機関と連携し、誰一人逃げ遅れない体制の構築に努めます。

問 小学校高学年の児童から給食の量が物足りないとの声がある。背景に食材費の高騰や児童数の減少があるのか見解を伺う。

答弁 児童数の減少による影響も一定程度考えられますが、食材費の高騰を理由に給食の量を減らしているということはありません。給食の献立は、国の基準に基づき、成長に必要な栄養価のほか、児

童の肥満や瘦身の傾向、残食量等を考慮して作成しています。今後も適切な献立に基づき、児童の健やかな成長を支える安全で安心なおいしい給食の提供に努めていきます。

問 初動が肝心のいじめ対応だが、認知された時の具体的な対応について伺う。

答弁 いじめに対応する教員が一人で抱え込むことがないように、いじめ防止対策推進法に基づくいじめ対策組織が状況把握や認知対応を行います。対象の児童生徒に寄り添うことを最優先とし、事実確認を行い対応方針を決定した後、関係する児童生徒への支援や指導を行うとともに、双方の保護者に学校の指導方針に対する理解や協力を求めています。また、必要に応じて外部機関と積極的に連携して未然防止、早期発見・早期解決に取り組んでいます。

市政運営の基本的な考え方について



三上 裕久
公明党

問 (仮称) 駅前交流施設に設置予定のホールが白紙撤回され、旧文化センターをイメージした固定席の大ホールを作りたいとしているが、内部協議は進んでいるのか。一方で開西中学校跡地に現建物を活用して小規模ホールを設置したいとしているが、維持管理経費や市民の利便性を考えると、同一敷地内にあるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 大規模ホールについては、実現したい思いはありますが、内部協議には至っていません。開西中学校跡地の小規模ホールについては、教育委員会と共有していますが、第2期滝川市小・中学校適正配置計画が整った後に、具体的に協議していきます。

問 滝川市立病院経営強化プランに基づく経営改善の効果が得られなかった場合、市としてのさらなる支援について伺う。

答弁 病院事業会計の収支改善の取り組みを着実に進めることが最優先であり、仮に収支改善に至らない場合でも、一般会計からの法定外の繰出金の支出は考えていません。中空知地域医療構想モデル推進区域の議論加速化を国に求めるなど、経営改善に向けた取り組みを進めます。

問 自治体DX推進の目的は、デジタル技術を活用した住民サービスの向上と行政運営の効率化を実現することにより持続可能な行政運営を目指すこととされている。この取り組みを行うことで市民生活はどのように変化し、どのようなメリットをもたらすのかを伺う。

答弁 休日や夜間でもコンビニ店舗で証明書の交付サービスを受けることができ、スマホ市役所では妊婦面談の予約ができるなど、今後も子育て世代をはじめ多くの市民がより利便性を実感できるような取り組みを進めていきます。

第1回定例会 個人質問から

複合化事業について ホール機能を含む文化施設



寄谷 猛男
日本共産党

問 駅周辺地区再生整備事業の白紙化によりホール機能の整備は新たに検討するとした。文化センターが閉鎖して久しく、整備が急がれる。また小規模ホールを含む文化施設複合化事業に見込める事業費を市民にあらかじめ示し、その中でどこに資金を使うのかを話し合い、計画を具体化することが現実的で納得のいく施設をつくることになると思うが、考えを伺う。

答弁 小規模ホールとして開西中学校の跡地を活用する考えを持っていますが、現在は第2期滝川市小・中学校適正配置計画改定案の議論の段階ですので、計画が整った後、地域並びに文化関係団体等とも相談して具体的に検討したいと考えています。予算規模等については具体的な金額はきまっていません。大きな財源を伴うのでこれから様々な方の意見を聞きながら時間をかけて決定していく段階

であると考えています。

問 市民の命・健康を守る市立病院の存続は欠かせない。市立病院の経営が安定するまでは不測の事態に備え、財源確保に努めるべきである。市民、通行人の安全対策を施しつつ旧スマイルビルの解体工事を延期することについて考えを伺う。

答弁 旧スマイルビルは安全確保対策を継続しつつも早期解体に向け残置物処分や解体工事実施設計などの業務に着手すべきと判断したところです。これらについては延期する考えはありません。また同時に市民の健康保持に必要な医療等を提供する滝川市立病院はなくてはならない機能と考えています。病院事業会計への繰出基準に基づき繰出金の増額を継続し、財政調整基金やその他の基金確保にも取り組みながら、財政の安全性確保に向けて最大限対応します。

令和7年度 経済建設常任委員会行政視察

滝川市議会では、先進的な取り組みをしている自治体の施策やアイデアを視察する「行政視察」を2年に一度常任委員会ごとに行っています。今回、経済建設常任委員会は、千葉県鴨川市の企業等を視察し、鴨川観光プラットフォームの運営や、地域資源（菜の花）を活かした観光政策の展開について学びました。なお、視察結果は、今後の議会活動などに活かしていきます。

視察期間：令和8年3月24日(火)～25日(水)

視察先：千葉県鴨川市 ・ 鴨川観光プラットフォーム株式会社
・ 一般社団法人鴨川市観光協会

